

緑からもらったものを緑にかえそう

緑とともに

2011年7月発行

Toyota・Kamo
NPO法人 豊田・加茂
菜の花プロジェクト

機関紙 第46号

はじめに

暑さが本格的になります

5月14日、総会及び菜の花楽習会が開かれました。今年は約70名の参加がありました。楽習会では、浅野智恵美さんを講師に迎え講演会が行われました。参加された方々は環境問題に関心のある方々で熱心に話しを聴いていました。また、無事に終える事ができ、ご来場の方々及び関係者の皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。有難うございました。



特集

正しい情報を得る為の ネットワークの必要性



思い通りに事が運ばないのは、苦勞するものですね。また、風評被害などの情報により、私達の生活は右往左往、いったい何が真実なのか・・・今更ですが、強固なネットワークの重要性が必要なのだと感じました。また全国でも、そういう動きが必要とされています。

風評被害

災害などにより、虚偽や不適切な報道で生産物の品質やサービスの低下を懸念して消費が減退し、関係のない業者・従事者まで被害を受ける事。

この言葉をどれほど、今回の東日本大震災では
聞いた事でしょうか。

風評被害が増えれば、まじめにやってきた農家はど
うになってしまうのでしょうか。とても心配です。

風評被害に負けない為

ネットワークの必要性

生産者 交流があれば・・・解決できる 消費者

- ・品質、味共に自信がある
- ・流通の仕方がわからない
- ・できれば生産者の感想が聞きたい



- ・安全安心な物が欲しい
- ・買う物に関する情報が欲しい
- ・生産者が知りたい

世の中に出回る食料は安全検査済みの為、
安心してお召し上がりいただけます。

ネットワークを使っでの支援

今、被災地を元気に元氣と活気を・・・と言う思いから、被災地の生産物を見つけ必要な物を買いつけるという支援の仕方もあるのではないのでしょうか。（東北地方は広いです。原発・津波の影響を受けていない場所もたくさんありますよ。）

観光に出かけ、お土産、物産品などを買うなどの支援の仕方もあります。被災地の状況把握という点では、確実な情報が得られます。デマや風評被害に惑わされないそんな信念を持ち、被災地が早く復興できるよう正確なネットワークを使い応援していこうじゃないですか。

NPO法人 豊田・加茂菜の花プロジェクトが考える事とは・・・

プロジェクトでは、地産地消を推進してきました。豊田市で、中山間地の過疎化や農離れを少しでも解消したいからです。地元の方々が買って消費してくれる事が生産者のやる気・元氣の源になります。

被災地の現状においても、地産地消を広げるでもネットワークを使い生産物の良い所を認識し広めて欲しい。という点では共通しています。

それは、生産者の将来性・希望に繋がるからです。

生産者として共にあり、
共に頑張りましょう



・・・被災地より・・・

被災地に行ってきました。仙台港付近が目的地だったので通ったのです。仙台港、知っていますか？

その日・・・たくさんの新車が津波で流され、重油流失などで火事にもなった場所です。今現在、広い道路は物が退かされ、車の通行が可能でしたが、路地側溝などの場所には、車が信じられない状況で積み重なっていました。

車はわりにきれいに見え、もしかしてまだ使えるの？期待をさせる状況ですが実際は使えないし、退かす事さえ今はできないそうです。

そんな悲しい希望のない世界。人の気配はなく静まりかえっていました。杳然としていると、現実に引き戻されるかのように例えようのない臭いは想像を絶します。とにかく長時間いるには、かなり覚悟が必要です。状況が改善するのはいつでしょうか。悲しくなりました。

そんな状況に光が一日でも早く当たるよう願ひその場を後にしました。今は自分達ができる事を見つけ積極的にやるべき時期なのだと改めて感じました。みなさんも是非自分のできる範囲で結構です。

御協力よろしくお願いします。

各コーナー・イベント情報のお問い合わせ先

Toyota Kamo
NPO法人 豊田・加茂
菜の花プロジェクト

事務局 梅谷

〒471-0051 豊田市花丘町1丁目17番地
TEL 0565-41-4837 FAX 0565-34-3566
URL <http://www.hanaoka.biz/>

イベント報告

5月14日
(土)

菜の花楽習会

●豊田市長 鈴木公平様・農ライフでは、10haの耕作放棄地を解消している。菜の花プロジェクトの活動では、40~50haもの耕作放棄地を解消しています。とてもありがたい事です。これからは、より環境の事を考え生活していく事が大切です。とおっしゃっていました。



●愛知県議会議員 小山たすく様・事業を作る、続けるのは地味な仕事だが大変。その為に役割、持ち場をそれぞれの強みとし特性を活かし環境として業として広げる所を分けるべきだとおっしゃっていました。



●農林水産部 食育推進課課長 可知祐一郎様・国内の農林水産業の大切さをテーマに啓発から実践へ。風評被害に立ち向かうには消費者が関心を持つ事が重要です。また同時に偽装を減らす事にも繋がります。



●活動報告 豊田・加茂菜の花プロジェクトでは、緑とともにに普段より掲載されてます内容等を報告しました。

●活動報告 おおぶ菜の花クラブ 会長 深谷泰造様・今までの活動や実践上の課題、また今後の目標などが報告されました。



講演会の内容・・・「環境モデル都市の市民の役割～環境にやさしいまちづくり～」と題し浅野智恵美氏を講師にむかえ、講演会が開かれました。低炭素社会の実現に向けて温室効果ガスの大幅削減などへの取り組みを行う環境モデル都市として、2009年1月に中部圏で唯一豊田市が選ばれました。豊田市が目指すところは「ハイブリッド・シティとよた」です。新たな価値、新たな仕組みを創出していこうという思いを込め表現されたそうです。豊田市は、活発な市民活動と強い経済活動に支えられた活力ある低炭素社会の実現。地球温暖化問題を解決する過程で、市民・企業が創意工夫や無駄を省く知恵を生み出すことにより、エコで元気なまちの実現を目指しています。「クルマのまち」豊田市民の私たちが、真っ先にできる項目として、エコドライブがあります。エコドライブを実践すれば、燃費約20%向上・ガソリン代約20%お得・CO2排出量約20%削減・交通事故が減り大切な家族の安全につながるなど、なんと一石四鳥です。今、生活を変えていかないと、100年後の我々の子孫が安心して生活していくのが困難な時代がやってきます。CO2削減に向け行政・企業・各団体が活動しています。これからは市民も、海のエコラベルやなのはな油のような環境に配慮した商品を選んで購入する、豊かで美しい森づくりを進める、消費者の視点で賢く生活することが重要になってきます。それが、環境モデル都市の市民の役割でもあります。と、おっしゃっていました。貴重な話を聞かせていただき私達はこれから一市民として、是非、日本一の環境モデル都市の実現を目指し、出来る事から実践していきましょう。

4月23日、5月15日
(土) (日)

市民農園 農業体験塾

4/23・・・えだまめやスイートコーン、落花生の苗作りをしました。皆さん丁寧に植えてくれました。
5/15・・・4月に苗作りをしたものとさつまいもの苗植えをしました。たくさん芽が出たので感激でした。たくさん実りますように・・・



5月17日

(火)

名古屋でらうま市 @ 渋谷東急東横店

ピピッと！あいちのブースより出展しました。他県への進出はまたとないチャンスです。良いご縁がある事を願って。



きれいに並べました。いかがですか？

6月10日、6月21日

(金)

(火)

猿投台中学校 環境教育

6/10・・・これから、行われる環境学習の内容の説明が行われました。
6/21・・・廃油より石けんづくりと搾油、省エネ購和を行いました。学習中の様子に私達はこれからの生徒達との環境教育内容が楽しみになりました。



6/10 ガイダンス

6/21 石けん 製作中

おしらせ

- 6/18.19の第11回全国菜の花サミットinかちは 9/18.19に日程を変更しました。
前回の緑とともにでお知らせしました菜の花サミットは東日本大震災の影響で、開催が変更になりました。多少の内容等も変更になると思います。確認の上、ご参加下さい。
- 今年も無事、菜種の収穫が終わりました。新油が楽しみです。

申込方法

- ①氏名
 - ②郵便番号
 - ③住所
 - ④電話番号
- を記入して右記までお申込下さい。

ハガキ
FAX
E-mail
のいずれかで

お申し込みはこちら

Toyota Kano
NPO法人 豊田・加茂
菜の花プロジェクト

事務局 梅谷

〒471-0051 豊田市花丘町1丁目17番地
TEL 0565-41-4837 FAX 0565-34-3566
E-mail: nanohana@hanaoka.biz

ご愛読ありがとうございます
次号は、(2011年9月発行)
「豊田・加茂のなのはな油」
です。お楽しみに！！

